

令和3年度シラバス (教科・科目: 家庭: 子どもの発達と保育)

68 新潟県立高田南城高等学校

定時制課程	単位数	必履修・選択	年次
午前	2	選択	3, 4年次

教科書	学習書・他教材
『子どもの発達と保育 (教育図書)』	

学習目標
子どもの発達の特徴や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

学習計画	
学習項目	学習内容
・子どもの発達の特徴	乳幼児期や発達観の変遷・児童感の変遷を学習し、児童の保護・養育について理解を深める。 乳幼児期の発達の特徴を理解するとともに、適切な保育の在り方を理解させる。
・子どもの発達過程	発達とは、心身の構造・形態や機能・行動にみられる変化であり、各時期の特徴を理解させるとともに、乳幼児期が人格形成上重要な時期であり、乳幼児の健全な発達のためには精神保健が大切であることを理解させる。
・子どもの生活	乳幼児の生活の特徴と適切な養護のあり方、生活習慣の形成、生活環境の整備、健康管理と事故防止などについて取り扱い、乳幼児の健全な発育・発達を促す生活について理解させる。
・子どもの保育 ・子どもの福祉と子育て支援	乳幼児の発達を促すための保育の必要性和意義を理解させ、保育の目標と指導の原理に基づく基本的な保育技術を身につけさせる。また、家庭保育と集団保育について、それぞれの特徴や役割を理解させる。乳幼児が心身ともに健やかに育つための児童福祉の理念や法律と制度について理解させるとともに、近年の児童家庭福祉の考え方と子育て家庭への支援に関する施策について理解させる。

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行う。			
①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
乳幼児の発達の特徴や生活、保育について興味や関心を持ち、課題に対して意欲的に取り組んでいる。	乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育にかんする知識と技術を習得し、子どもの健全な成長について考え、発表することができる。	乳幼児の発達や生活、保育について自分の考えを深め、まとめることができる。	乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活や保育にかんする知識と技術について理解している。
成績はテストの点数と、実習を伴う科目なので実習で作成した作品や提出物の状況・授業態度などを総合的に勘案して評価する。			

授業の進め方、課題・提出物など
教科書中心の授業、折り紙やおもちゃ製作等の実習を併せて進めていきます。

担当者からのメッセージ
家庭基礎を履修した後に履修する事ができる。折り紙やおもちゃ作り等の実習を行います。実習費が500円程度かかります。